

～シリーズ:注目施術①～

「目の周りの美容整形」

目元に関する手術には、「理想的な二重まぶたにする」
「ぱっちりとした大きな瞳にする」ものがあります。

医療法人社団エムエフシー
銀座ファインケアクリニック
総院長 沖 正直

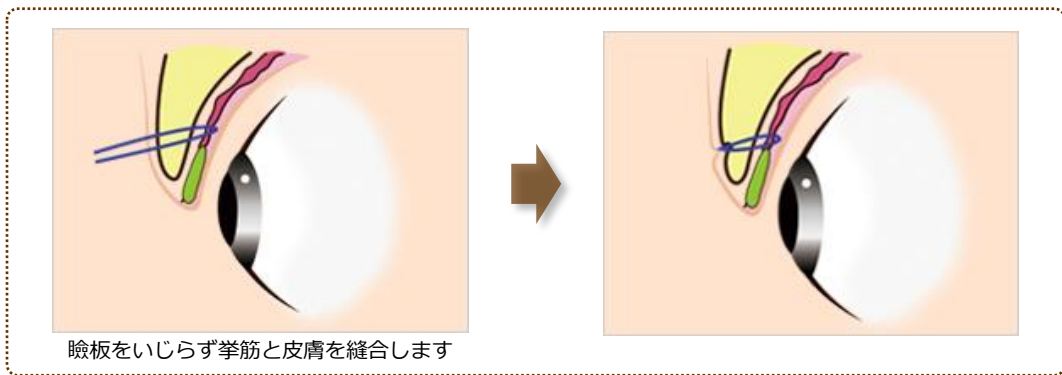
「理想的な二重まぶたにする」

埋没法

埋没法は、糸をまぶた内に「埋没させる」ことで二重瞼を形成する手術です。
腫れが最も少ない方法で、施術の当日からポイントメイクが可能です。

実際には、糸により、瞼を開く筋肉である「眼瞼挙筋」と皮膚をつなぎとめることで、瞼を開く際に同時に皮膚も引きあがるようになり、重瞼線が形成されます。

基本的には糸の力で重瞼線を保っているため、一度手術を行った場合でも、別の位置に糸をかけることでラインを修正したり、抜糸して形成した重瞼線を消失させることも可能です。

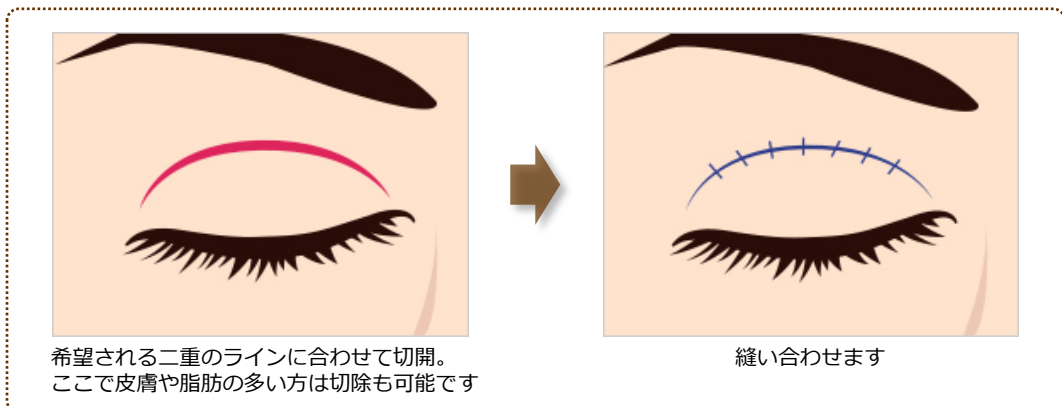


切開法重瞼

希望の重瞼線の位置で皮膚を切開し、皮膚を眼瞼挙筋に縫い付けることで重瞼線を形成する手術です。

過去に埋没法の施術経験がある方や継続的にアイプチをしている方等、希望の重瞼線の位置が確定して、術後の後戻りを避けたい方に適応となります。

切開法重瞼は希望されるくっきりとした二重まぶたを実現します。



「ぱっちりとした大きな瞳にする」

挙筋前転（目の開きを大きくする）

「挙筋前転」とは、本来、眼瞼下垂症の症状には適応される形成外科的な手術手技で、瞼の開きを大きくすることができます。「挙筋」とは「眼瞼挙筋」のことで、上眼瞼を開く働きをする筋肉です。手術の際は、ご希望の重瞼線の位置で皮膚を切開し、「眼瞼挙筋」を露出して、適切な位置まで引っ張って、瞼の縁にある軟骨のような硬い組織である「瞼板」に縫い付けることで、この筋肉が収縮した際の瞼の開きを大きくします。

当院では、術中にご自身で鏡を見ていただき、瞼の開く幅をご希望の幅に調整します。

また、所謂「切開法重瞼術」と同様に、重瞼線の形成も同時に行います。

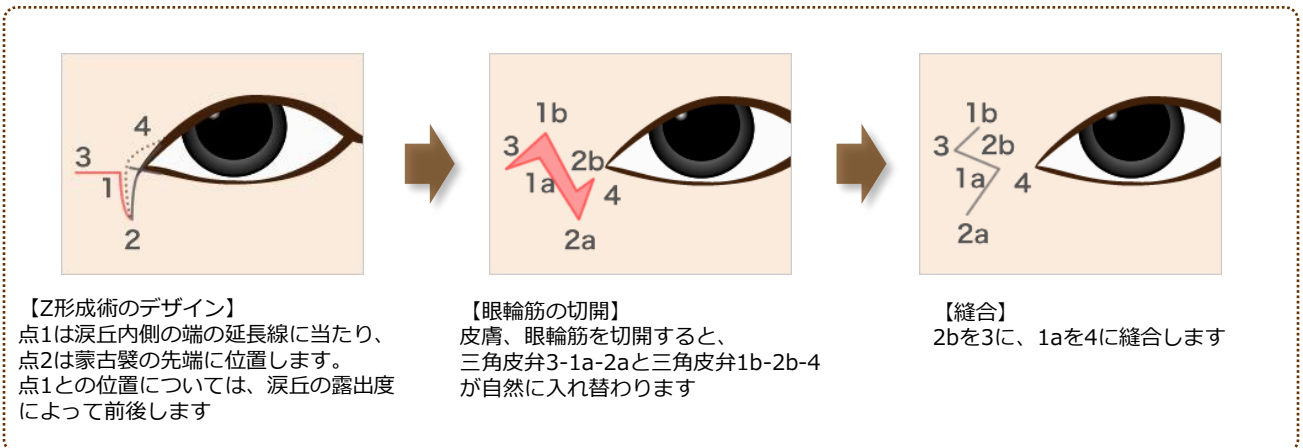


目頭切開（目の幅を大きくする）

目頭切開とは、目頭部分にかぶさっている「蒙古襞」を切り開く手術です。

この部分を切開することにより、目の横幅が目頭に向かって長くなるので、お顔の印象が全体的にシャープになります。目頭の部分を覆う上まぶたの「蒙古ひだ」でお悩みの方や、「目が小さい」「目が離れている」という方に最適な治療です。

目頭の蒙古ひだを切り開くことでぱっちりとした大きな目になります。



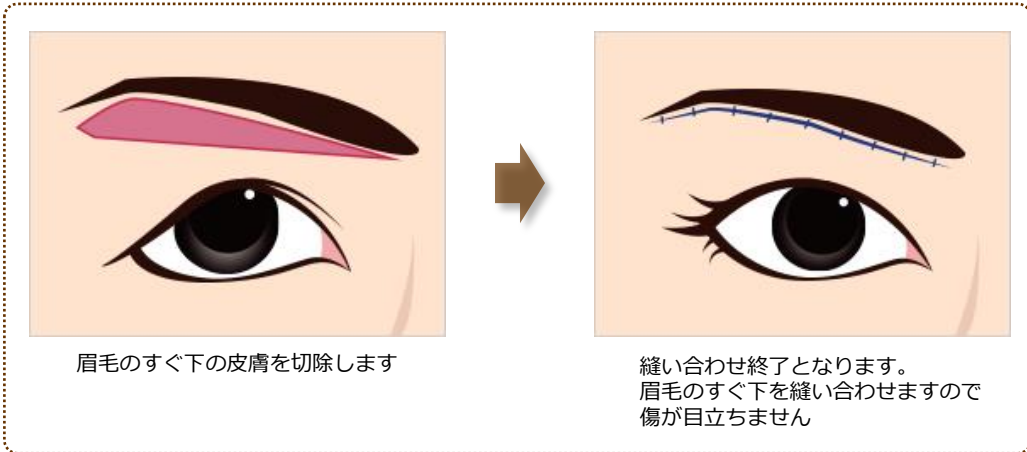
「若々しくすっきりとした目元にする」

眉毛下皮膚切除（瞼のたるみを取る）

「眼瞼挙筋」の機能が良好で、瞼の開きは良いが、皮膚がたるんでしまっている場合には、たるんだ皮膚を切除する術式が適応となります。

皮膚を切除する際、ご希望の重瞼線の位置に合わせて皮膚を切開し、切除する方法と、眉毛下のラインに合わせて皮膚を切開し、切除する方法があります。

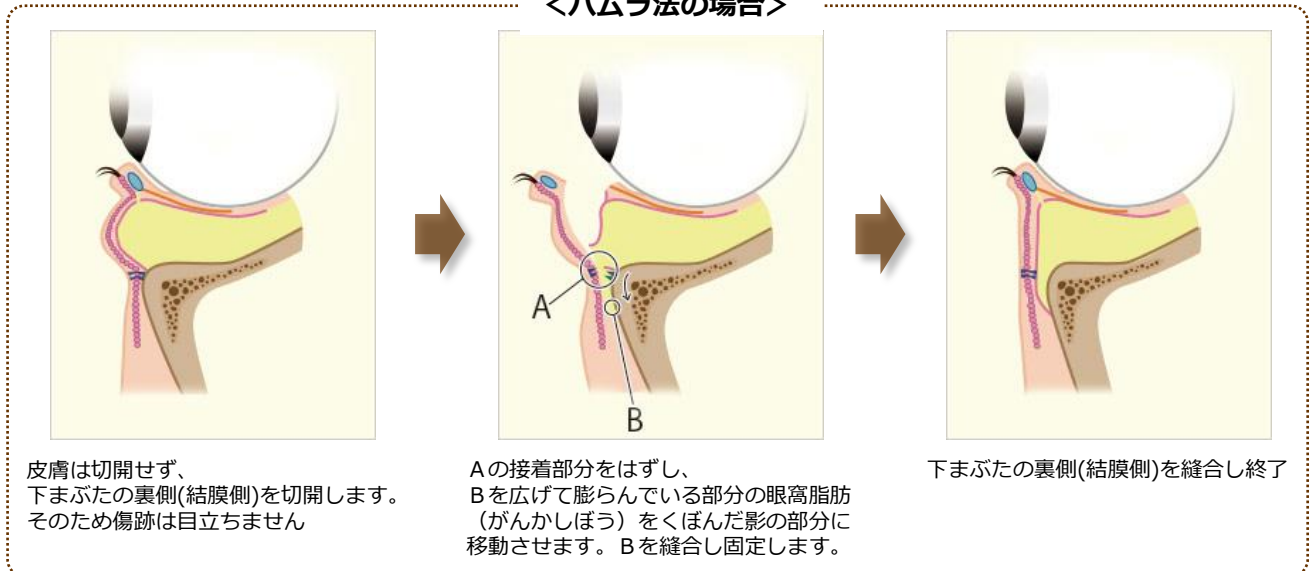
眉毛下で切除する場合には、重瞼線等は変えずに皮膚のたるみだけを取るため、「あまり眼の印象を変えずにすっきりさせたい」といったご希望の方は、こちらが適応となります。



下眼瞼形成（目の下のたるみを取る）

下瞼の皮膚・脂肪による「たるみ」を除去する手術です。瞼縁の皮膚を切開し、下瞼の「眼窩脂肪」を除去、あるいは適切な位置に移動して、瞼のたるみを改善します。この際、余剰な皮膚を切除することで、皮膚によるたるみも改善します。皮膚側に傷痕を作りたくない場合には、結膜側からの切開でも同様の手術が可能です。ただし、この場合、皮膚切除を行わないので、皮膚性のたるみは改善できません。

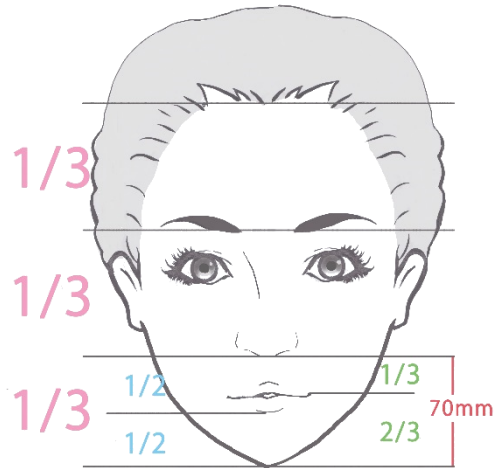
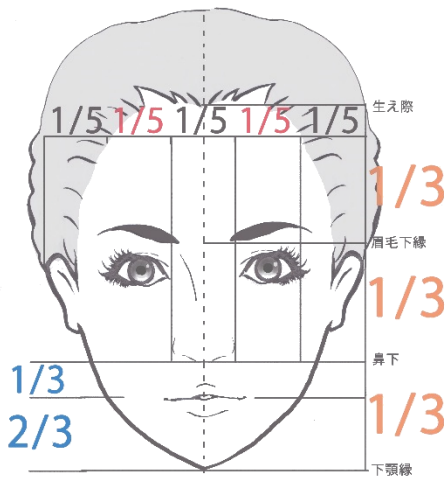
＜ハムラ法の場合＞



～コラム～

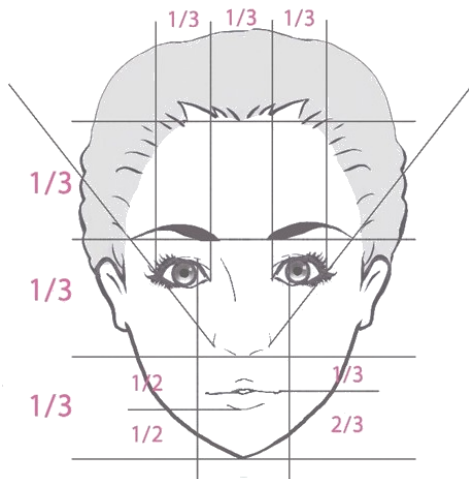
「美人顔の黄金比」

我々は人の顔に対して魅力的や美しいなど、第一印象を決めるのに1秒もかからないと言われてます。そのわずかな時間で人の印象を決める材料になるのが、顔の“黄金比”であると考えられています。その“黄金比”とは、万人が美しいと判断する材料であり、顔の各パーツの「バランス・位置」「大きさ」などの距離感や大小に影響しています。その中でも、目元の印象は人の印象を大きく変える要素となっており、“黄金比”に近いほど万人に愛される顔立ちとされています。

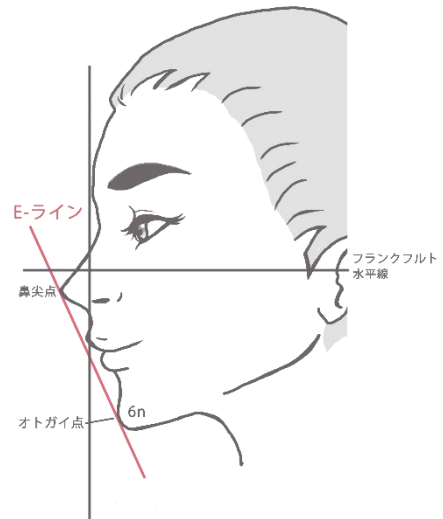


- 「顔の横幅」が「目の横幅」の5倍であること
- 「鼻の下から唇の真中」と「唇の真中からあご先」が1:2であること

- 「髪の生え際から眉毛の下」「眉毛の下から鼻の下」「鼻の下からあご先」の長さの比率が1:1:1であること



- 「小鼻の外側」と「目頭」を結ぶ直線の延長線上に「眉頭」が来ること
- 「小鼻の外側」と「目尻」を結ぶ直線の延長線上に「眉尻」が来ること
- 「小鼻の横幅」と「目の横幅」が同じ（約3cm）であること



- 横顔で鼻尖、唇、顎先が一直線上（Eライン）に揃うこと